

自動運転の視力を、鍛えています。



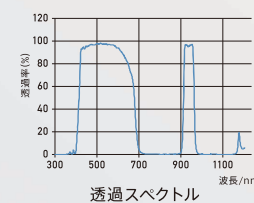
0.1			
0.2			
0.4			
0.6			
0.8			
1.0			
1.2			
1.5			
2.0			



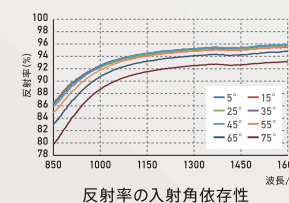
日立ハイテク、進化を加速させる技術。

クルマの自動運転の実現には、必要不可欠とされるLiDAR(ライダー)。先行車、歩行者、道路施設などの距離、位置関係を三次元で把握する光センサー技術です。このLiDARに使用されるレーザー光の波長、905 nm、1550 nmに関連する光学部材の評価に、高感度で高ダイナミックレンジな対応を可能にしたのが分光光度計UH4150AD+です。紫外・可視・近赤外と、いままでにない幅広い測光レンジを実現。定評のある平行光光学系を踏襲しながら、感度が低下するNIR領域においては、最大7Absの測定が可能です。すでに実現されている先進運転支援システムでは、センシング用車載カメラの光学部材の評価に貢献。この他、UH4150AD+はスマートフォンの高機能化するカメラのレンズ、5G通信の光分波デバイスの評価にも採用されています。日立ハイテクには、進化を加速させる技術があります。

デュアルバンドパスフィルタのUV/VIS/NIR透過率測定



自動運転用LiDAR向け平面鏡の角度可変反射測定



紫外可視近赤外分光光度計  
UH4150AD+

